

2026年10月13日



たてくろジオパーク だより

第
95
号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089

FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

f https://facebook.com/tatekuro

第14回 JGN 中部ブロック大会 佐渡大会に参加しました



9月7日から8日にかけて、本ジオパークネットワーク中部ブロック大会に参加するため、立山黒部ジオパークから事務局2名、ガイド2名で佐渡を訪れました。今大会のテーマは「佐渡ジオパークにおける『ジオツーリズムの掘り起こし』」。1日目は、既存の観光コースを実際に体験させていただきました。

- ①観光タクシーで巡るトキ観察コース
- ②専門ガイドと歩く「佐渡金山」コース
- ③加茂湖でのカヤック体験コース

いずれも佐渡の自然と歴史の奥深さを感じるひとときとなりました。

夜の交流会では、佐渡の美味しいご馳走とともに、各地域が持ち寄ったお土産をご紹介します。立山黒部ジオパークからは、ホタルイカと白エビの素干しを持参して紹介しました。

2日目は、朝食前に、佐渡ジオパーク認定ガイドの皆さんのご案内で宿泊先周辺を散策。加茂湖や佐渡諏訪神社の能舞台を巡り、朝の澄んだ空気の中で佐渡の魅力を全身で感じる事ができました。

朝食後は、前日のツアー内容を振り返るグループワークで心が動いたポイントやジオらしさを感じた点などを話し合い、ジオツアーとしてさらに磨き上げるための視点を共有し合う貴重な時間となりました。



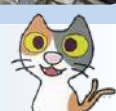
9/12 現地観察会 in 立山

環境省中部山岳国立公園と立山黒部ジオパークとパートナーシップによる連携事業『現地観察会 in 立山』を開催しました。立山での観察会を通じてその価値や魅力を体感してもらおうというもので、神奈川県、石川県の方を含む39名の方にご参加いただきました。

朝、立山カルデラ砂防博物館でのガイダンスを終え、立山有料道路を上がっていったときは雲がかかってどうなることかと思いましたが、室堂に着くと雲が晴れ、美しい山並みを望むことができました。弥陀ヶ原では、汗をかくくらいの日差しに恵まれ、木道ルートやカルデラ展望台を楽しむことができました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



10～11月のジオパーク散歩



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しみませんか？

詳細は 協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。
参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAX または電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号
をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

*参加費 500 円

※最小催行人数は 4 人です。申込締切日までに最小催行人数に達しない場合は中止します。

募集中



最近のジオパーク散歩の様子



ジオパーク散歩 in 入善

〈入善町の「水の恵み」を見つけよう！〉

【日 時】 10 月 21 日(水) 9:30～12:00 (受付 9:15～)

【集合場所】 株式会社ウーケ 富山入善工場 駐車場

【見学場所】 株式会社ウーケ富山入善工場、園家山キャンプ場、
園家海岸、海洋深層水活用施設

【持 ち 物】 雨具、飲物など

【対 象】 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】 10 月 16 日(金) 定員 10 名先着順

ジオパーク散歩 in 富岩運河①

〈川がつくったまち 富山 ～神通川から富岩運河へ～〉

【日 時】 10 月 29 日(木) 9:00～12:00 (受付 8:40～)

【集合場所】 富岩運河環水公園「泉と滝の広場」の下

【見学場所】 環水公園、富岩運河、サイフォン式水路、
中島閘門

【持 ち 物】 雨具、飲物など

【対 象】 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】 10 月 26 日(月) 定員 10 名先着順

ジオパーク散歩 in 富岩運河②

〈富山駅北のシンボル富岩運河はどのようにして造られたのか〉

【日 時】 11 月 11 日(水) 9:00～12:30 (受付 8:45～)

【集合場所】 富山市役所 南側広場

【見学場所】 旧神通川常夜灯、旧神通川河川跡、環水公園、
中島閘門（閘門の開閉を見学）

【持 ち 物】 歩きやすい服装・靴、雨具、飲物ほか

【対 象】 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】 11 月 6 日(金) 定員 10 名先着順

ジオパーク散歩 in 宇奈月

〈紅葉愛でながら、黒部川からの恵みを探ってみよう〉

【日 時】 11 月 17 日(火) 9:30～12:00 (受付 9:15～)

【集合場所】 うなジオ（宇奈月公民館横）前

【見学場所】 うなジオ、宇奈月ダム、やまびこ展望台、
旧山彦橋、冬季歩道、電気記念館、足湯

【持 ち 物】 雨具、タオル、飲物ほか

【対 象】 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】 11 月 12 日(木) 定員 10 名先着順

9/13 ジオパーク散歩 in 日石寺

先月に続いての大岩山日石寺での開催となりましたが、県内より 10 名の方にご参加いただきました。今回のテーマは「日本列島誕生の秘密を探る」。大岩山金比羅、三重塔、夫婦岩、千巖溪、六本瀧を巡りました。

あいにく祈祷と重なり、間近で摩崖仏を拝むことは叶いませんでしたが、それでも充実した散歩となりました。散歩の後は、名物のそうめんを味わいに行かれた参加者の方も多く、心もお腹も満たされた一日となりました。



9/16 ジオパーク散歩 in 沢スギ

入善町・杉沢の沢スギにてジオパーク散歩に 9 名の方にご参加いただきました。沢スギの中に点在する丸い岩、倒木の根に絡みつ়く石、そして山の清らかな水にしか生息しないシマアメンボなど、一見気づきにくいこうした痕跡をガイドと一緒にたどりながら、「かつてここを黒部川が流れていた」歴史に思いを馳せるひとときとなりました。

あわせて、沢スギ内に生育する植物についてもガイドから解説があり、水と森が織りなす豊かな生態系を五感で感じる散歩となりました。



9/25 ジオパーク散歩 in いたち川

この日は環水公園に集合し、牛島閘門からいたち川沿いをのんびりリバーウォーク。川沿いには彼岸花が美しく咲き、秋の訪れを感じる散歩になりました。途中の休憩で、「玉殿の湧水」と「海のミネラル水（鉱水&海洋深層水）」を飲み比べ、その違いを体感しました。ゴールの石倉町の延命地蔵の水は中硬水で、先ほどの 2 つの中間くらいの味わいです。軟水から硬水まで、水の個性の違いを舌で確かめながら、立山から続く水の旅に思いを馳せて解散となりました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



9/5 自然保護センター講演会＆観察会開催

室堂平にある立山自然保護センターで立山黒部ジオパーク協会連携事業の講演会＆観察会が開かれました。講師は富山地方気象台の木津暢彦氏で「立山の気象 空の観察方法」のテーマで講演されました。

雲の種類は世界共通の 10 種類であることや様々な気象現象のメカニズム等を詳しく解説していただきました。講演後には、外に出て木津氏のレクチャーを受けながら、地上気象観測を行いました。

この日の室堂平の雲は積雲の 1 種類だけでしたが、参加されたみなさんは気象観測の楽しさや難しさを味わうことができたようです。



9/5 ジオガイド スキルアップ研修

上市町働く婦人の家での第 3 回スキルアップ研修は、富山県立南高等学校の横井教諭に地学の基礎をご講義いただきました。

「大人のための地学基礎 立山ができるまで」と題した講義では、地球の構造やプレートテクトニクスといったテーマをかみ砕いて丁寧にお話いただき、立山という山ができるまでの壮大な物語への理解を深めることができました。最後は「立山は火山・岩石・地形・気象など、地学教材の宝庫」という横井先生の言葉で締めくくられ、地球規模の視点から立山を見つめ直す、貴重な学びの時間となりました。



9/6・7 バーチャルリアリティ学会大会に参加

富山県立大学で第 31 回日本バーチャルリアリティ学会大会が開催されました。その中のイベントで、富山県立大学の学生のみなさんが制作された富山 VR コンテンツ体験企画が行われました。

トロッコ電車に乗って、雨晴海岸や立山の室堂平を巡るコンテンツや黒部ダムを散策するもの等が用意されています。コンテンツの中にジオパークに関連するものが多く出てくるので、ジオガイドにストーリーを語ってもらいたいという依頼があり、参加しました。県外の参加者がほとんどで、興味深くコンテンツを見て、ストーリーを聞いておられました。



9/9 魚津市中学校教育研究会で解説

魚津市中学校教育研究会 理科部会の先生から稲村露頭の現地研修の依頼を受け、金子研究教育部会員に解説等をお願いしました。

あいにくこの日は、風雨が強く現地研修は断念し、スライドショーや動画、3D 画像を使っの座学を行いました。

授業に活かす視点にも触れられたこともあり、先生方は熱心に話を聞いておられました。終盤には、立山黒部ジオパーク協会のジオガイドや人材の活用もアピールしてくださいました。



9/12 ナチュラリスト養成講座で解説

立山黒部ジオパーク協会と連携・協力の協定を結んでいる富山県自然保護協会から富山県自然保護講座（ナチュラリスト養成講座）の 1 コマを受け持つことを依頼され、森内専門員が担当しました。

「ジオパークって何？ -立山黒部ジオパークの概要-」というテーマで話をしました。保全・活用という点では両協会とも相通じる面が大きいことやナチュラリストとジオガイドとを掛け持っておられる方が多いということもあり、熱心に聞いていただけたようです。



9/16 「世界遺産 × 観光」フィールドスタディで解説

富山県世界遺産登録推進事業実行委員会から立山黒部ジオパーク協会へ、立山砂防直轄 100 年・県営 120 年記念事業「世界遺産 × 観光」フィールドスタディの講座の 1 コマを受け持つことを依頼され、森内専門員が伺いました。

立山黒部ジオパークの活動として、立山黒部ジオパークの魅力やジオパークの視点を持つと景色の見え方が違ってくこと、地域づくりを含めた具体的な活動内容等を県内外の大学生らに話しました。予定の終了時刻を超えても質問があるなど熱心に聞いてもらえたようです。





古来、黒部川扇状地では、雪融け水に豪雨が重なり「あばれ川」と化し、川筋も一筋に定まらず、幾筋にも分かれて流れたことから「黒部四十八ヶ瀬」とも呼ばれ、北陸道の難所の一つでした。愛本刎橋は1662年、加賀藩主・前田綱紀の命で、黒部川の幅が狭くなる要の位置である愛本に架けられた全長 63.5 mの刎橋です。黒部川は急流で川の中に橋脚が建てられないため、両岸から「刎木（はねぎ）」と呼ばれる木材を張り出してつなげる構造が用いられました。愛本橋を渡る街道は「上街道」、旧来の海岸沿いは「下街道」と呼ばれ、上街道は距離は長いが黒部川が増水する夏季に利用されるため夏街道、下街道は減水期の冬に利用されて冬街道とも呼ばれました。現在は約65m下流に鋼鉄製の「愛本橋」が架かっています。写真の5個の白い所は「刎木」を支える柱の跡です。黒部市歴史民俗資料館ではこの愛本刎橋をVRで再現し、全容を体感できます。

愛本刎橋跡は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

絆と奉仕で、 次の未来へ

Rotary
Club of Unazuki



宇奈月ロータリークラブ
黒部市宇奈月温泉638
unazukirc@gmail.com

協会会員企業のご紹介

まだ見ぬところへ、まだ見ぬ明日へ

近畿日本ツーリスト

〒930-0029 富山市本町3-25 富山本町ビル5階

TEL:076-433-8855

協会会員企業のご紹介
の掲載お申込み方法は
右の2次元コードから
ご覧ください。



新任職員ご挨拶

はじめまして。10月より事務局長補佐として着任いたしました。これまでホテル関係の施設等で長く勤務してまいりました。この経験をぜひともジオパーク協会に活かせたらと思っております。事務方の仕事は今まで経験したことがありませんが、皆様方に教をいただき、早く協会の力になるように、精進していく所存でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

坂 東 尚



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

